

日本共産党都議会議員

とや英津子のニュースレター

TOYA ETSUKO Newsletter

文教委員会理事

オリンピック・パラリンピック特別委員

事務所 練馬区桜台1-6-11 TEL:03-6324-8060



力合わせ、明日に希望の持てる年に

日本共産党都議会議員 とや英津子

新しい年が明けました。昨年はコロナに始まりコロナに終わった年でした。

今年は政権交代を実現するチャンスの年です。野党連合政権をつくるため力を合わせましょう。

私は今年6月、二期目の都議選に挑戦します。

年末の都議会では、PCR検査の拡充や医療機関への支援や中小業者への給付金支給、年越しの宿泊施設の確保などを求めました。都民世論と結んでの議会論戦や申し入れで、一日6.8万件の検査の約束、年越しの住まい確保など、都民要求に応える事業につなぎました。

さらに国会議員団、区議団とも連携し、少人数学級を求める意見書の提案をはじめ小学校の学級編成基準改定に向けた動きをつくることができました。学生応援給付金、給食費助成の創設、シルバーパス条例など5つの条例提案も行いました。

外環自動車道などに巨額の税金を使うのではなく命と暮らしを最優先にする都議会が求められています。今年も力いっぱい頑張ります。皆様のご支援を心からお願いします。



新年度予算は、住民の生命、暮らしを最優先に

— 練馬区に予算要望書提出 とや英津子都議と日本共産党練馬区議団

提出する
とや英津子都議
(左から3人目)ら



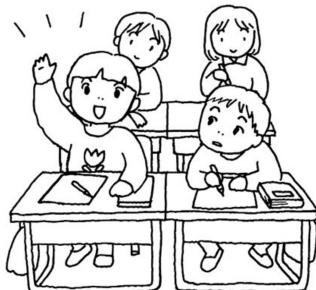
コロナ禍のもと、新年度予算編成が進められています。企業の業績悪化や勤労者の収入減によって税収の大幅減が想定される中で、住民福祉を縮小する動きが出ています。

とや英津子都議と共産党練馬区議団は11月、練馬区に対して予算要望書を提出し「大型開発など不要不急の事業を抜本的に見直し、財源を生命、健康、暮らし、営業を守るために優先せよ」と求めました。

小学校全学年35人学級実現

世論が動かす

公立小学校の1学級の人数を25年度までに全学年35人学級以下に引き下げることが決まりました。新型コロナウイルスの感染拡大を機に、かってなく高まつた少人数学級を求める国民の声と運動が、現在の40人学級に固執する財務省を包囲し、長年閉ざされてきた扉をこじ開けました。



少人数学級 今こそ実現を

少人数学級実現を求める世論と運動が急速に広がり、全国で500を超える議会が意見書をあげています。全国知事会も少人数学級を求める緊急提言を発表しました。

この提言について小池知事は「安全・安心な教育環境を確保しつつ、すべての子どもたちの学びの保障に向けた取り組みは必要」と答弁しました。都として文科省を後押しし、教員定数の改善、小学校のみの段階的実施ではなく直ちに中学校と合わせて30人以下、20人以下学級へと進めることが必要です。

12月の都議会文教委員会では、少人数学級を国に求める意見書を提案しました。実現はできませんでしたが、引き続き一致点を広げ、少人数学級を実現できるよう奮闘します。

3000円シルバーパス 給食費への助成など 案例提案

暮らしに役立つ5つの条例

① 学生緊急応援

都内在住または親が都内在住の大学生、専門学校生などに
今年度中に一律3万円の給付金

②ひとり親への支援

元童育成金相当を月2,000円増額
(月額13,500円を15,500円に増額)

③シルバーパス改善

3千円バス路線、都県境を越える路線への適用
多摩都市モノレールやゆりかもめへの適用

④給食費への助成

小中学校の給食費を月2,000円助成

⑤島しょ通院交通費・宿泊費半額補助



日本共産党都議団は、コロナ禍で深刻な影響を受けている都民の生活を応援する立場から、学生への緊急応援給付金、ひとり親家庭への支援、シルバーパスの改善、小中学校の給食費への助成、島しょの方々が島外の病院に通う際の交通費・宿泊費半額補助のくらしに役立つ5つの条例提案を行いました。

条例案は、都民ファースト、自民党、公明党などの反対で成立しませんでしたが、引き続き都民のみなさんの運動と力を合わせて、実現に向けて奮闘します。

現地レポート

外環道の練馬の建設予定地を歩いて

外環道の工事現場の真上で調査



調布市の住宅街で10月に発生した道路陥没について、NEXCO 東日本は外環道のトンネル工事も要因の1つと認めました。「地上に影響はない」との大深度地下（地下40m以深）での工事の前提が崩れしたことになります。

八の釜湧水も、びくに緑地の自然も完全に壊滅

12月中旬、現地がどうなっているか、権利制限を受ける住宅がどの程度あるか等を確かめるために、地上でも工事が行われている東大泉2丁目・びくに公園付近から外環道のトンネルが大深度地下に達する石神井台3丁目付近まで、地元の有馬区議、やくし前区議、地域の皆さんと歩いてみました。

地上でも工事が行われている区間は、かつての閑静な住宅街は見る影もなくなっていました。工事が地下のみの区間では、外環道による権利制限と地上部街路「外環の2」がどのように住宅街にかかるのかメジャーで測り、改めて影響が大きいことを確認しました。

●連絡先 とや英津子事務所 6324-8060 ●ご意見・ご要望をお寄せください。